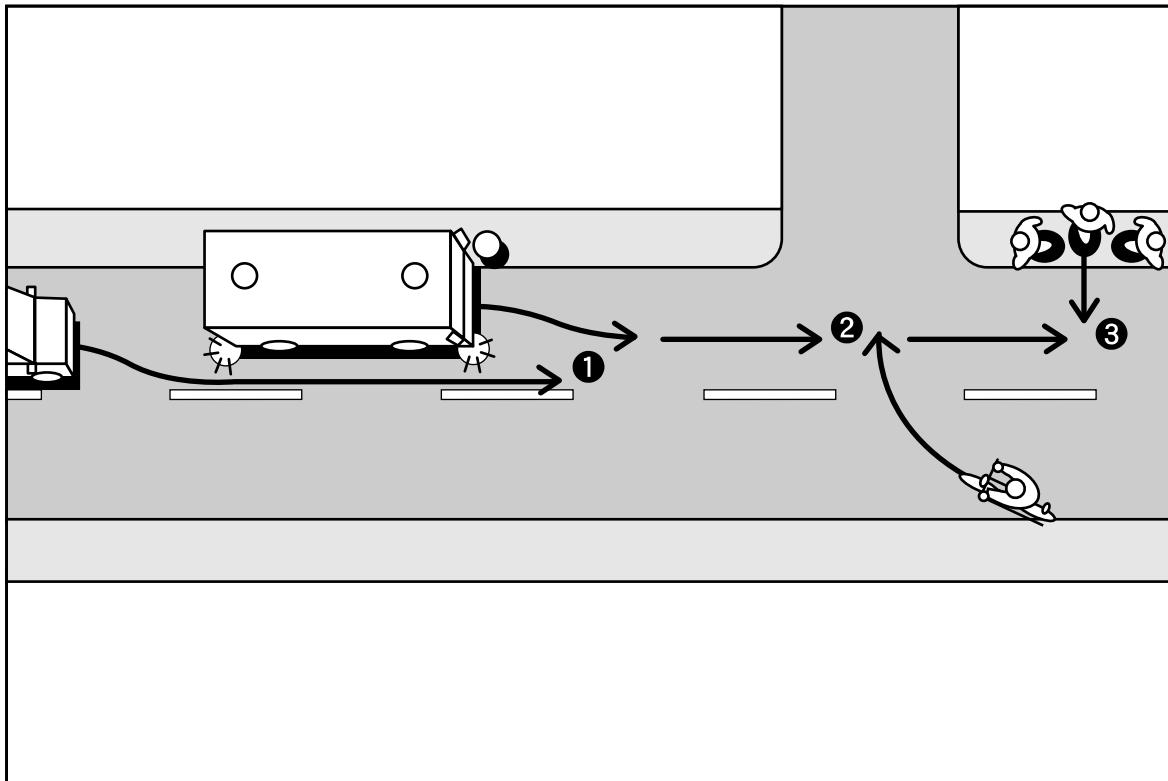


〔バス3〕バス停からの発進時



1．主な危険要因の例

- ① センターライン側に寄っている後続車が追越しをかけてくると、発進時に接触する危険がある。
- ② 前方右側対向車線から自転車が接近しており、脇道に入るために右折してくると衝突する危険がある。
- ③ 前方に数人の子供たちが遊んでおり、車道に飛び出してくるとはねる危険がある。

2．安全運転の例

発進していくときは、後続車の動向を必ず確認し、追越しをかけてきたときは、先に行かせてから発進する。

自転車が右折してくることが予測されるので、自転車を右折を待って進行する。

子供が道路に飛び出してくる危険性があるので、いつでも停止できる速度で徐行して進行する。

3．乗務員指導のポイント

発進の合図を出しても追越しをかけてくる車があるので、「まさか追い越しではこないだろう」とは考えずに、後続車の動向をよく確認するとともに、追越しをかけてきたときは先に行かせてから発進するよう指導する。

道路脇で子供が遊んでいるときは、子供の動きに十分注意し、いつでも停止できる速度で進行するよう指導する。